



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 旭松食品株式会社

上場取引所 大

コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 足立 恵

TEL 06-6306-4121

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,817	△34.0	△73	—	△59	—	772	—
23年3月期第2四半期	7,298	△12.1	106	—	105	—	△137	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 774百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △205百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	84.28	—
23年3月期第2四半期	△14.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	11,222	7,990	71.0
23年3月期	12,017	7,262	60.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,963百万円 23年3月期 7,233百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	△31.0	200	△60.6	200	△61.1	900	—	98.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	9,382,943 株	23年3月期	9,382,943 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	223,161 株	23年3月期	222,057 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	9,160,600 株	23年3月期2Q	9,163,034 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による直接的な被害はもとより、原子力災害、サプライチェーンの復興の遅れ、電力供給の制約など様々な面でマイナスの影響を受けました。また、欧州債務問題や継続的な円高、原油価格や穀物価格の高騰、デフレの影響、雇用情勢の悪化などにより、先行きに不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、大震災直後の一時的な買いだめや、その後の自粛ムードによる買い控え、包装材料などの入荷不足による商品の供給不足、さらには原材料の高騰によるコスト上昇などを販売価格に転嫁出来ない状況が続き、厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社グループは前連結会計年度末をもって収益環境が厳しい納豆事業から撤退し、収益構造の改善を図ってまいりました。なお、凍豆腐や加工食品などの主力事業に関しては東日本大震災による直接的な被害は免れたものの、包装材料などの仕入価格は上昇の傾向にあることから業績面では厳しい状況となりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は納豆事業撤退の影響が大きく48億1千7百万円（前年同四半期比34.0%減）となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、手頃な価格設定の「ミニパック」シリーズをリニューアル発売し市場の活性化を図って参りました。しかしながら大震災直後に出荷が伸びた分、当第2四半期連結累計期間に反動があり、売上高は19億6千7百万円（前年同四半期比6.1%減）と減少いたしました。加工食品においては、大震災の影響により一部出荷制限を行ったアイテムがありましたものの安定供給に努めました。しかしながら、流通在庫が過剰となっておりカップ入りタイプが大きく落ち込み、売上高は20億6千5百万円（前年同四半期比8.4%減）となりました。

利益面では、納豆事業から撤退後の主力事業は比較的冬型の商品で構成されており、売上高減少に対応した固定費圧縮等による損益分岐点引き下げ過程の中で、大豆等原材料価格の高値継続や一部構造改善に係る費用が発生する等の要因もあり、当第2四半期連結累計期間においては、営業損失7千3百万円（前年同四半期は1億6百万円の利益）、経常損失5千9百万円（前年同四半期は1億5百万円の利益）となりました。また、当第2四半期連結累計期間には納豆事業の営業権及び商標権の売却益を特別利益として計上いたしました結果、四半期純利益は7億7千2百万円（前年同四半期は1億3千7百万円の損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ7億9千5百万円減少し、112億2千2百万円（前連結会計年度比6.6%減）となりました。総資産の減少の主な要因は、営業権及び商標権の売却、有形固定資産の売却により現金及び預金が12億6千4百万円増加したものの、受取手形及び売掛金の減少10億5千万円や流動資産及び固定資産に係る繰延税金資産の減少3億9千8百万円があったことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ15億2千3百万円減少し、32億3千1百万円（前連結会計年度比32.0%減）となりました。負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少3億9千9百万円、未払金の減少3億2千3百万円、短期・長期を合わせた借入金の返済5億6百万円、希望退職者への特別退職金の支給などによる退職給付引当金の減少2億6千9百万円があったことなどによるものです。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の増加は、3千3百万円であります。

資金の増加の主な要因は、仕入債務の減少額3億9千3百万円、未払金の減少額3億3千4百万円及び特別退職金の支払2億6千6百万円があったものの、売上債権の減少額が10億5千1百万円あったことなどによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流入額が2億9千1百万円減少しております。この主な要因は、売上債権の減少差額で4億1千9百万円の流入があったものの、特別退職金の支払いにより2億6千6百万円の流出、減損損失の減少差額で2億円の流出及び賞与引当金の増減差額で1億8千2百万円の流出があったことなどによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、4億4千8百万円であります。

資金の増加の主な要因は、定期預金の預入による支出が13億5千万円及び有形固定資産の取得による支出が5千8百万円あったものの、営業権及び商標権の売却による収入14億円、有形固定資産の売却による収入4億6千3百万円があったことなどによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流入額が5億4千8百万円増加しております。この主な要因は、定期預金の預入による支出が13億5千万円あったものの、営業権及び商標権の売却による収入が14億円及び有形固定資産の売却による収入が4億6千2百万円増加し、有形固定資産の取得による支出が1億3千3百万円減少したことなどによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、5億6千9百万円であります。

資金の減少の主な要因は、長期借入金の約定返済2億9千4百万円及び短期借入金の減少額が2億1千3百万円あったことなどによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流出額が1億6千万円増加しております。この主な要因は、短期借入金の減少差額で1億8千5百万円の流出となったことなどによるものです。

以上により当第2四半期連結会計期間末における資金は前連結会計年度末に比べ8千5百万円減少し、12億8千8百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては平成23年5月13日に公表いたしました平成24年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,478,988	2,743,560
受取手形及び売掛金	3,092,852	2,042,103
たな卸資産	866,317	1,052,713
繰延税金資産	299,785	3,539
その他	214,871	118,061
貸倒引当金	△1,673	△1,200
流動資産合計	5,951,142	5,958,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,638,793	6,943,315
減価償却累計額	△5,644,920	△5,231,455
建物及び構築物(純額)	1,993,873	1,711,859
機械装置及び運搬具	11,295,943	8,480,422
減価償却累計額	△10,180,148	△7,540,330
機械装置及び運搬具(純額)	1,115,795	940,091
土地	1,958,494	1,781,439
リース資産	176,122	107,019
減価償却累計額	△138,170	△84,535
リース資産(純額)	37,952	22,484
建設仮勘定	900	4,196
その他	460,791	429,471
減価償却累計額	△394,256	△365,223
その他(純額)	66,534	64,247
有形固定資産合計	5,173,550	4,524,319
無形固定資産	292,734	251,130
投資その他の資産		
投資有価証券	387,176	391,149
長期貸付金	17,885	14,204
繰延税金資産	102,283	—
その他	94,321	82,912
貸倒引当金	△1,513	△327
投資その他の資産合計	600,152	487,938
固定資産合計	6,066,437	5,263,389
資産合計	12,017,580	11,222,166

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,197,078	797,896
短期借入金	816,411	562,380
リース債務	18,924	11,423
未払金	903,356	579,388
未払法人税等	33,237	10,275
賞与引当金	150,324	41,296
設備関係支払手形	13,971	26,933
その他	327,997	280,586
流動負債合計	3,461,300	2,310,180
固定負債		
長期借入金	285,730	33,270
リース債務	21,640	12,646
繰延税金負債	—	172,441
退職給付引当金	909,987	640,315
資産除去債務	61,794	51,594
その他	14,468	10,830
固定負債合計	1,293,620	921,096
負債合計	4,754,921	3,231,277
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	4,044,010	4,770,286
自己株式	△126,184	△126,426
株主資本合計	7,168,093	7,894,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,554	88,281
為替換算調整勘定	△22,115	△19,204
その他の包括利益累計額合計	65,438	69,077
少数株主持分	29,126	27,684
純資産合計	7,262,658	7,990,889
負債純資産合計	12,017,580	11,222,166



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	7,298,782	4,817,690
売上原価	5,489,802	3,624,476
売上総利益	1,808,980	1,193,213
販売費及び一般管理費	1,702,952	1,266,362
営業利益又は営業損失(△)	106,028	△73,148
営業外収益		
受取利息	514	901
受取配当金	3,392	4,186
受取賃貸料	1,245	84,273
受取保険金	1,780	1,537
受取技術料	452	5,502
為替差益	—	2,028
雑収入	12,007	9,420
営業外収益合計	19,392	107,848
営業外費用		
支払利息	17,459	7,730
賃貸収入原価	243	86,072
為替差損	2,306	—
雑損失	341	226
営業外費用合計	20,350	94,029
経常利益又は経常損失(△)	105,070	△59,329
特別利益		
固定資産売却益	628	21,547
投資有価証券売却益	36,735	184
営業権及び商標権の売却益	—	1,400,000
資産除去債務履行差額	—	9,926
特別利益合計	37,364	1,431,658
特別損失		
固定資産除却損	7,606	9,056
固定資産売却損	15	3,062
減損損失	200,262	—
投資有価証券評価損	6,071	—
投資有価証券売却損	2,252	—
関係会社出資金売却損	—	16,107
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	49,198	—
特別損失合計	265,406	28,226
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△122,971	1,344,102
法人税、住民税及び事業税	11,015	3,902
法人税等調整額	4,015	569,884
法人税等合計	15,031	573,786
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△138,003	770,315
少数株主損失(△)	△704	△1,765
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△137,298	772,080

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△138,003	770,315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,803	727
繰延ヘッジ損益	△4,888	—
為替換算調整勘定	△13,022	3,234
その他の包括利益合計	△67,714	3,961
四半期包括利益	△205,717	774,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△203,710	775,718
少数株主に係る四半期包括利益	△2,006	△1,441

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△122,971	1,344,102
減価償却費	410,278	322,366
開業費償却額	2,185	—
減損損失	200,262	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,785	△1,657
賞与引当金の増減額(△は減少)	73,338	△109,027
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,678	△4,626
受取利息及び受取配当金	△3,907	△5,087
支払利息	17,459	7,730
固定資産売却損益(△は益)	△613	△18,485
固定資産除却損	7,606	9,056
投資有価証券売却損益(△は益)	△34,483	△184
投資有価証券評価損益(△は益)	6,071	—
関係会社出資金売却損	—	16,107
営業権及び商標権の売却益	—	△1,400,000
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	49,198	—
売上債権の増減額(△は増加)	631,755	1,051,106
未払金の増減額(△は減少)	△232,329	△334,564
たな卸資産の増減額(△は増加)	△93,465	△186,158
仕入債務の増減額(△は減少)	△341,979	△393,388
未払消費税等の増減額(△は減少)	△132,229	32,095
その他	△51,099	△3,659
小計	382,184	325,725
利息及び配当金の受取額	3,689	4,866
利息の支払額	△17,465	△7,759
法人税等の支払額	△43,682	△22,780
特別退職金の支払額	—	△266,413
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>324,726</b>	<b>33,637</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△1,350,000
有形固定資産の取得による支出	△191,297	△58,080
有形固定資産の売却による収入	1,088	463,715
無形固定資産の取得による支出	△5,786	△14,548
投資有価証券の取得による支出	△2,169	△2,159
投資有価証券の売却による収入	99,736	184
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による収入	—	2,459
営業権及び商標権の売却による収入	—	1,400,000
貸付けによる支出	△4,500	△3,000
貸付金の回収による収入	3,296	7,131
その他	△201	2,696
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△99,833</b>	<b>448,396</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△28,097	△213,099
長期借入金の返済による支出	△309,960	△294,481
リース債務の返済による支出	△70,500	△16,494
自己株式の取得による支出	△298	△242
配当金の支払額	△47	△44,932
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△408,903</b>	<b>△569,250</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,950	1,787
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△186,961</b>	<b>△85,428</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,307,019	1,373,964
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,120,057</b>	<b>1,288,535</b>

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	7,290,161	7,290,161	8,621	7,298,782
セグメント間の内部売上高 又は振替高	528	528	—	528
計	7,290,689	7,290,689	8,621	7,299,311
セグメント利益	927,325	927,325	4,462	931,787

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	927,325
「その他」の区分の利益	4,462
セグメント間取引消去	△528
全社費用(注)	△825,230
四半期連結損益計算書の営業利益	106,028

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食料品事業」セグメントにおいて、売却を予定している一部遊休設備について、帳簿価額の見直しを行った結果、帳簿価額が売却見積価額を超える物件に対し減損損失を計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、200,262千円であります。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	4,806,454	4,806,454	11,236	4,817,690
セグメント間の内部売上高 又は振替高	430	430	—	430
計	4,806,884	4,806,884	11,236	4,818,120
セグメント利益	636,754	636,754	5,715	642,470

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	636,754
「その他」の区分の利益	5,715
セグメント間取引消去	△430
全社費用(注)	△715,188
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△73,148

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

食料品事業セグメントの主要製品のうち、納豆については、平成23年3月末をもって撤退いたしました。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。